

公立病院改革プランの概要

団 体 名		三重県					
プ ラ ン の 名 称		三重県立病院改革プラン(総合医療センター)					
策 定 日		平成 21年 3月 30日					
対 象 期 間		平成 21年度 ～ 平成 23年度					
病院の現状	病 院 名	三重県立総合医療センター					
	所 在 地	三重県四日市市大字日永 5450-132					
	病 床 数	446床					
	診 療 科 目	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・脳神経外科・小児科・産婦人科・整形外科・リハビリテーション科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻科・精神科・神経内科・放射線科・麻酔科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要)		<p>①がん診療連携拠点病院として、より充実した治療体制を整備します。</p> <p>②県北部の三次救急医療の役割を365日24時間担うとともに、二次医療圏における病院群輪番病院として、休日・夜間時の救急重症患者に対応します。</p> <p>③脳卒中・心筋梗塞等の疾患に対する高度医療を提供します。</p> <p>④地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩や高度な新生児医療に対応します。</p> <p>⑤病診・病病連携の一層の推進等により地域連携機能の充実を図ります。</p> <p>⑥高度で最先端の施設・設備を有する管理型臨床研修病院として、臨床研修医の確保育成に努めるとともに、看護実習生を積極的に受入れ、看護師の養成に貢献します。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要)		<p>①人材育成に要する経費(臨床研修医養成経費、看護実習生養成経費)</p> <p>②救急医療に要する経費(救命救急センター運営に係る理論上の不採算額)</p> <p>③災害拠点病院に要する経費(防災訓練費等)</p> <p>④感染症対策に要する経費(第2種感染症指定医療機関運営経費等)</p> <p>⑤高度医療、周産期医療、リハビリテーションに要する経費(理論上の不採算額)</p> <p>⑥建設改良費に要する経費(企業債元利償還金の2/3(15年度以降起債分は1/2))</p> <p>⑦その他(共済追加費用、公的基礎年金拠出金に要する経費等)</p>					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率(%)	94.6	95.3	94.8	94.9	95.9	
	職員給与費比率(%)	55.2	56.2	58.3	58.7	58.6	
	病床利用率(%)	68.6	67.3	68.1	69.8	71	
	平均在院日数(日)	13.3	12.6	12.5	12.5	12.5	
	クリニカルパス利用率(%)	34.1	35.0	40.0	40.0	40.0	
上記目標数値設定の考え方		<p>○看護師数の増加を図り、抑制している稼働病床数を増やすことで、求められる役割・機能の発揮と収支の改善に努めます。</p> <p>(経常黒字化の目標年度:平成27年度)</p>					

				団体名 (病院名)	三重県 (三重県立総合医療センター)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
紹介患者数(人)		6,400	6,500	6,550	6,600	6,600	
がん手術件数(件)		501	550	550	560	570	
救命救急センター入院患者数 (人)		6,001	6,000	6,100	6,100	6,100	
臨床研修医受入医数(人)		19	23	25	30	30	
地域連携クリパス件数(件)		0	80	90	100	110	
数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	①平成14年度に導入した新しいマネジメントシステム(BSC; バランス・スコアカード)を活用し、各病院の運営方針の徹底を図ります。 ②医事業務、宿日直業務、清掃業務等について、民間委託を実施しています。					
	事業規模・形態の見直し	○看護師不足等により、18年10月から稼働病床数を332床(許可病床数446床)に縮減していますが、看護師の確保・定着支援や業務環境の改善等により看護師数を増加することで、計画期間内(23年度まで)に380床まで段階的に増床する予定です。					
	経費削減・抑制対策	①21年4月に導入するDPC分析により、診療行為や投入資源の検証を行い、クリニカルパスの改善・合理化を図る等、医業収支比率を改善します。(H21～) ②後発医薬品の使用率向上、同種(同効)医薬品・材料使用の推進、保険請求対象外材料の抑制、在庫管理の徹底等により、材料費の伸びの抑制に努めます。(H21～) ③施設設備、医療機器の適切な維持管理を行い、整備抑制に努めるとともに、機器整備を行う場合は機種選定・機器活用検討委員会の審査のもと、費用対効果や維持管理費用等を検査し、計画的に行います。(H21～) ④21年度内にX線の完全フィルムレス化を図り、材料費を抑制するとともに、業務の効率化、院内スペースの活用等を図ります。(H20～21)					
	収入増加・確保対策	①21年4月からDPCを導入し、標準的かつ効率的な医療提供を行うことで、収益性の向上を図ります。(H21～) ②DPC導入に伴い、入外診療行為における効率的な分担を行うことにより、診療単価増を図ります。(H21～) ③開業医への訪問等、地域医療機関との連携強化による新入院患者数の増加に努めるとともに、看護師確保・定着対策の強化により段階的に増床し、入院患者の確保を図ります。(H21～) ④部門及び病棟間の円滑な連携のもと、病床管理の効果的・効率的な運用を図ることで、病床利用率の向上に努めます。(H21～)					
	その他	①管理型臨床研修病院として臨床研修医の育成に努めます。 ②医師等の超過勤務を軽減するため、医療事務補助者の活用等により、医師の業務負担軽減を図ります。					
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	75.0%	18年度	66.7%	19年度	68.6%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	①稼働病床数の増加計画(病床数は年度末時点の目標値) H20年度:332床、H21年度:342床、H22年度:360床、H23年度:380床 ②施設増改築計画 臨床研修医の研修環境の充実を図るため、「研修センター(仮称)」の設置について検討します。					

団体名
(病院名)

三重県
(三重県立総合医療センター)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	○当院が所在する北勢保健医療圏には、次の4つの公立病院が開設されています。 (桑名市民病院(桑名市・234床)、市立四日市病院(四日市市・566床)、県立総合医療センター(四日市市・442床)、亀山市立医療センター(亀山市・100床))		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	再編・ネットワーク化計画の策定にあたっては、県医療審議会(地域医療対策部会)の中で、県内各地で喫緊の課題となっている救急医療提供体制の確保を中心に検討が進められる予定です。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要	<時期> 平成21年度内	<内容> 再編・ネットワーク化計画の策定にあたっては、県医療審議会(地域医療対策部会)の中で、県内各地で喫緊の課題となっている救急医療提供体制の確保を中心に検討を進めています。 第1回:平成20年12月 第2回:平成21年 3月 第3回:平成21年 5月(予定)	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態見直し計画の概要	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
		<input type="checkbox"/> 民間譲渡		
		<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行	
	経営形態見直し計画の概要	<時期> 平成20年10月	<内容> 検討組織として、県庁内に「県立病院改革プロジェクト」を設置しています。 (平成21年2月 県議会に対し、「県立病院改革に関する考え方(基本方針)(案)」を公表)	
		平成21年2月～	県議会をはじめ関係者の意見も参考としながら、「県立病院改革に関する考え方(基本方針)」をできるだけ速やかに決定していく予定です。	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制	①決算状況報告や、当面の運営方針及びバランススコアカード(BSC)による取組報告を通じて、県議会にお示しする方向で検討しています。		
	点検・評価の時期	○毎年9月頃を予定しています。		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	三重県 (三重県立総合医療センター)
--------------	-----------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	7,398	7,658	7,907	7,982	8,128	8,241
	(1) 料 金 収 入	6,869	7,130	7,238	7,322	7,468	7,581
	(2) そ の 他	530	528	669	660	660	660
	うち他会計負担金	364	361	500	501	501	501
	2. 医 業 外 収 益	949	990	1,161	1,193	1,176	1,159
	(1) 他会計負担金・補助金	872	914	1,075	1,109	1,092	1,075
	(2) 国 (県) 補 助 金	22	23	39	34	34	34
	(3) そ の 他	56	53	48	50	50	50
	経 常 収 益 (A)	8,347	8,648	9,068	9,175	9,304	9,400
	入	1. 医 業 費 用 b	8,182	8,376	8,767	8,956	9,105
(1) 職 員 給 与 費 c		4,179	4,229	4,442	4,650	4,770	4,830
(2) 材 料 費		2,066	2,130	2,211	2,186	2,234	2,271
(3) 経 費		1,245	1,282	1,349	1,402	1,402	1,402
(4) 減 価 償 却 費		640	682	708	675	656	582
(5) そ の 他		50	53	56	44	44	44
2. 医 業 外 費 用		762	763	750	721	695	668
(1) 支 払 利 息		552	532	512	489	465	439
(2) そ の 他		210	231	237	232	229	229
経 常 費 用 (B)		8,944	9,139	9,517	9,677	9,800	9,797
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-596	-491	-449	-501	-496	-398	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	9	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	19	23	94	7	7	7
	特別損益 (D)-(E) (F)	-19	-13	-94	-7	-7	-7
純 損 益 (C)+(F)	-615	-504	-543	-508	-503	-405	
累 積 欠 損 金 (G)	1,153	1,657	2,200	2,708	3,211	3,616	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	2,532	1,972	1,301	1,238	1,255	1,277
	流 動 負 債 (イ)	1,093	1,012	372	232	242	254
	うち一時借入金	0	0	30	12	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)						
差引 不良債務 (オ)	0	0	0	0	0	0	
単年度資金不足額 (※)	85	478	31	-77	-6	-11	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	93.3%	94.6%	95.3%	94.8%	94.9%	95.9%	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(イ)}{(ア)} \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	90.4%	91.4%	90.2%	89.1%	89.3%	90.3%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	56.5%	55.2%	56.2%	58.3%	58.7%	58.6%	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	-	-	-	-	-	-	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{(a)} \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	-	-	-	-	-	-	
病 床 利 用 率	66.7%	68.6%	67.3%	68.1%	69.8%	71.0%	

団体名 (病院名)	三重県 (三重県立総合医療センター)
--------------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	190	295	270	542	178	245
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	438	481	427	436	508	523
	4. 他会計借入金	0	0	0	98	98	98
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金	0	140	2	0	0	0
	7. その他	0	0	0	50	50	50
	収入計 (a)	628	916	699	1,126	834	916
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a)-(b)+(c) (A)	628	916	699	1,126	834	916	
支 出	1. 建設改良費	370	464	294	226	198	272
	2. 企業債償還金	668	747	678	1,075	822	844
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	56	46	65	25	25	25
	支出計 (B)	1,094	1,257	1,037	1,326	1,045	1,141
差引不足額 (B)-(A) (C)		466	341	338	199	211	225
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	466	341	338	199	211	225
	2. 利益剰余金処分量						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計 (D)	466	341	338	199	211	225	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(32)	(178)	(205)	(248)	(248)	(248)
	1,236	1,275	1,575	1,610	1,593	1,576
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	438	481	427	436	508	523
合計	(159)	(178)	(205)	(248)	(248)	(248)
	1,674	1,756	2,002	2,046	2,101	2,098

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

(別紙)

団体名 (病院名)	三重県 (病院事業合計)
--------------	-----------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	14,308	14,435	14,260	13,894	14,060	14,381
	(1) 料 金 収 入	13,353	13,500	13,185	12,842	13,009	13,330
	(2) そ の 他	955	935	1,075	1,051	1,051	1,051
	うち他会計負担金	649	621	766	770	770	770
	2. 医 業 外 収 益	2,714	2,840	3,107	3,113	3,065	3,038
	(1) 他会計負担金・補助金	2,584	2,700	2,954	2,973	2,924	2,898
	(2) 国 (県) 補 助 金	30	37	61	48	48	48
	(3) そ の 他	99	104	92	93	93	93
	経 常 収 益 (A)	17,022	17,275	17,367	17,007	17,124	17,419
	入	1. 医 業 費 用 b	16,754	16,994	17,562	17,661	17,802
(1) 職 員 給 与 費 c		9,453	9,523	9,763	10,011	10,131	10,209
(2) 材 料 費		3,307	3,355	3,342	3,199	3,249	3,329
(3) 経 費		2,610	2,735	2,928	2,990	2,990	2,990
(4) 減 価 償 却 費		1,302	1,288	1,422	1,374	1,346	1,226
(5) そ の 他		83	93	106	87	87	87
2. 医 業 外 費 用		1,235	1,218	1,240	1,179	1,101	1,059
(1) 支 払 利 息		853	813	823	772	699	658
(2) そ の 他		381	404	417	408	402	401
経 常 費 用 (B)		17,989	18,211	18,802	18,840	18,903	18,898
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-967	-936	-1,435	-1,833	-1,779	-1,479	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	9	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	158	419	271	135	135	135
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	-158	-410	-271	-135	-135	-135
純 損 益 (C)+(F)	-1,125	-1,346	-1,706	-1,968	-1,914	-1,614	
累 積 欠 損 金 (G)	2,046	3,392	5,098	7,066	8,980	10,594	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	4,909	3,616	2,341	2,352	2,587	2,857
	流 動 負 債 (イ)	2,699	1,989	1,469	2,352	3,412	4,350
	うち一時借入金	0	0	363	1,236	2,236	3,145
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不良債務 (オ)	0	0	0	0	825	1,493	
単年度資金不足額 (※)	608	583	755	872	825	668	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.6%	94.9%	92.4%	90.3%	90.6%	92.2%	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(イ)}{(a)} \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	10.4%	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	85.4%	84.9%	81.2%	78.7%	79.0%	80.6%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	66.1%	66.0%	68.5%	72.1%	72.1%	71.0%	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	825	1,493	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	10.4%	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	10.4%	
病 床 利 用 率	-	-	-	-	-	-	

団体名 (病院名)	三重県 (病院事業合計)
--------------	-----------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	1,565	1,533	1,184	2,168	286	353
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	1,001	1,027	804	819	955	994
	4. 他会計借入金	0	0	0	188	188	188
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	203	2	0	0	0
	7. その他	0	1	10	100	100	100
	収入計 (a)	2,567	2,763	2,000	3,275	1,529	1,635
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	2,567	2,763	2,000	3,275	1,529	1,635	
支 出	1. 建設改良費	2,034	2,056	512	403	319	393
	2. 企業債償還金	1,338	1,508	1,978	3,202	1,531	1,598
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	124	124	126	50	50	50
	支出計 (B)	3,497	3,688	2,616	3,654	1,899	2,041
差引不足額 (B)-(A) (C)		930	925	616	379	370	406
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	930	925	616	379	370	406
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
計 (D)		930	925	616	379	370	406
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(132)	(304)	(335)	(376)	(375)	(375)
	3,247	3,321	3,720	3,742	3,693	3,667
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	1,001	1,027	804	819	955	994
合計	(261)	(304)	(335)	(376)	(375)	(375)
	4,248	4,348	4,524	4,561	4,649	4,661

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。